

2013年3月13日配布

# 平成25年 みんなく春の特別展 マダガスカル 霧の森のくらし

ものづくりが息づく暮らし

無形文化遺産の



マダガスカル文化の本格的な紹介

日本ではじめて、

平成25年3月14日(木)～6月11日(火)開催  
国立民族学博物館 特別展示館 1階

■本件に関するお問い合わせ先  
国立民族学博物館  
広報企画室広報係  
TEL 06-6878-8560 (直通)  
Mail [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

※3月13日(水)に特別展内覧会、式典を予定しております。  
案内をご希望の方は、上記お問い合わせ先までご連絡ください。



実行委員会でフェイスブックページを運営しています。  
<http://www.facebook.com/MistyForest13>

## 【要旨】

キツネザルやカメレオンで知られる、マダガスカル東海岸の熱帯雨林。そこから内陸にむかって標高を上げていくと、1000メートルを超えたあたりで、インド洋を渡ってきた風が冷気にあたります。そこが、霧のはぐくむ「霧の森」です。

この森では、熱帯雨林以上に、人びとが森に寄りそって生きてきました。焼畑をおこなうザフィマニリの人たちは、マダガスカルでほぼ唯一、大型(高さ3メートル)で様式化された木造家屋をつくります。

木製の調度も多く、開き戸式の木製窓に刻まれる幾何学模様は、生活に溶けこんだ彫刻としてはきわめて精巧です。彼らが生活のなかで伝えてきた木彫りに関する知識は、2003年にユネスコの「人類の口承および無形遺産の傑作」として登録され、3年後に、ユネスコ無形文化遺産となりました。

この特別展では、彼らのくらしと木彫り作品をつうじて、生活に息づく技術や伝承について考える機会を提供します。また、展示が開かれる2013年は、ユネスコ無形文化遺産保護条約が採択されてから10年を迎えます。グローバル社会における文化のありかたについても、あわせて考えていただければと願っています。

## 【概要】

■展 示 名(日本語):マダガスカル 霧の森のくらし

■展 示 名(英語):Zafimaniry Style: Life and Handicrafts in the Mist Forest of Madagascar

■会 期:2013年3月14日(木)~6月11日(火)

■場 所:国立民族学博物館 特別展示館 1階

■開館時間:10:00~17:00(入館は16:30まで)

■無料入館日:5月5日(日・祝)

■休 館 日 :水曜日(期間中3月20日(水・祝)は開館、翌21日(木)は休館)

■観 覧 料 :一般420円(350円)、高校・大学生250円(200円)、小・中学生110円(90円)  
( )は20名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用

■主 催:国立民族学博物館

■協 賛:住友商事株式会社

■特別協力:大英博物館(イギリス)

アンタナナリヴ大学文明研究所/芸術・考古学博物館(マダガスカル)

■協 力:マダガスカル航空日本事務所、日本万国博覧会記念機構、財団法人千里文化財団、

■後 援:アジア太平洋無形文化遺産研究センター、大阪府、吹田市、吹田市教育委員会、  
日本アフリカ学会、ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所

■問い合わせ先:国立民族学博物館 06-6876-2151(代表)

## 【実行委員会の構成】(五十音順)

実行委員長	飯田 卓	国立民族学博物館 准教授
実行委員	岩谷 洋史	国立民族学博物館 外来研究員
	上羽 陽子	国立民族学博物館 助教
	大貫 美佐子	独立行政法人国立文化財機構アジア太平洋無形文化遺産研究センター 副所長/国立民族学博物館 特別客員教員
	川瀬 慈	国立民族学博物館 助教

## 【展示の構成・内容】

### ◆マダガスカルが多様な風土とくらし

マダガスカルの自然と生活の多様性を、プロの写真家 堀内孝氏の写真をつうじてご紹介します。

### ◆ようこそ霧の森へ

日本で見たような山あい水田と、日本に見られない荒々しい焼畑。霧の森に住むザフィマニリ人のなりわいを、写真と動画でご紹介します。

### ◆くらしの舞台としての村① 遊びをつくる子どもたち

ブンブンごまをつくったり、ござ編みをまねたり。将来ものづくりを担う子どもたちの天才的な遊び方を、みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)の「チーム・ガシカーラ」がご紹介します。「ガシカーラ」は、マダガスカルを意味するマダガスカル語(口語)です。

### ◆くらしの舞台としての村② 木造家屋のくらし

1980年代に大英博物館が収集したザフィマニリの家を展示します。ご自由に記念撮影してください。家屋の内部を再現し、家のなかで働いたり遊んだりするようすを動画でお見せします。

### ◆くらしの舞台としての村③ 家をつくる

釘を使わず木造家屋を建てるようすを、写真と動画でご紹介します。また、使われる木材を手にとっていただきながら、適材が適所に配置されていることをご紹介します。

### ◆くらしに生きるものづくり① 樹皮を織る

同じく女性の仕事だった機織りは、もはやおこなわれなくなりました。1997年にみんなくが収集した資料は、その最後の時代に属するもので、部品が完全にそろった数少ない資料かもしれません。

### ◆くらしに生きるものづくり② 植物を編む

パピルスやヨシのなかまの植物は、ザフィマニリ女性の編み仕事に欠かせない素材です。さまざまな大きさや固さの素材を使いわけながら、ござや帽子、かごを編むようすをご紹介します。

### ◆くらしに生きるものづくり③ 髪を編む

長い髪の毛を、頭の後ろで束ねる女性たち。三つ編みをさらに三つ編みにしてから、立体的に束ねます。自分の身だしなみを整えるなかから、女性は手仕事の基本を学び伝えあっています。

### ◆くらしに生きるものづくり④ 木を彫りだす

木材は、加工しやすくサイズが手ごろで、日用品をつくりだすには便利な素材。さまざまな日用の木製品を展示するとともに、道具の使いかたを動画資料でご紹介します。

### ◆窓にほどこされる幾何学模様

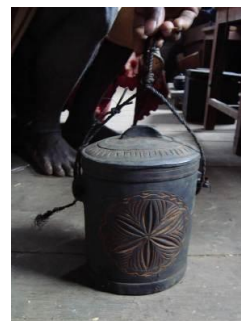
ユネスコ無形文化遺産に登録されたザフィマニリの木彫り知識を代表する浮き彫り文様。そのバリエーションを、1960年代にアンタナナリヴ大学芸術考古学博物館が収集した木製窓のコレクションでご紹介します。

### ◆外にむけてのものづくり

自分たちのくらしのためにつくられていた木製品も、有名になるにつれ、しだいに商品化していきました。逆に、ツーリスト・アートが生活にとりいれられた例もあります。ものづくりの現在をご紹介します。

### ◆ザフィマニリの将来とわたしたち(シアター空間)

観光客と工業製品が増え、森林が少なくなっていくザフィマニリの村。彼らの将来はどうなるのでしょうか。彼らの声を聞きながら、日本のわたしたちに何ができるか考えます。



展示資料点数 <b>NEW</b>	
標本資料(本館所蔵)	約200点
標本資料(借用)	約40点
展示場モニター映像	16点
シアター映像	2点
マルチメディアコンテンツ(PC)	映像 49点、パノラマムービー4点

## 【展示場体験と実演】

### ◆なってみる 展示ガイドシート

いろんな見方で展示を楽しむためのガイドシートを、4種類用意しています。霧の森の村にくらすおとうさん、おかあさん、子どもの視点に加え、そこで調査する民族学者だけが知っている調査のエピソード編もあります。

### ◆子どもたちの遊び

ブンブンごまをつったり、ごさ編みをまねたり。将来ものづくりを担う天才たちの遊びを、みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)の「チーム・ガシカーラ」がご紹介します。「ガシカーラ」は、マダガスカルを意味するマダガスカル語(口語)です。

### ◆パナンピの工房

「パナンピ」とは、「助っ人」「支援者」を意味するマダガスカル語です。展示場内の工房スペースでは、日本人スタッフがザフィマニリの腰かけづくりや帽子づくりを実演しながら、ものづくりの楽しさや奥深さを紹介しています。

### ◆霧の森に通じるポスト

ザフィマニリの人たちは、今回の特別展にいろいろ協力してくれました。彼らは、日本人が特別展を見て何を感じたのか、知りたがっています。手紙でそれを教えてあげてください。みんなくの研究者が責任をもって届けます。

## 【関連する催し】

### ◆ワークショップ

#### ＜ザフィマニリ家具に木彫り文様をほどこそう＞NEW

ザフィマニリがくらしで用いる三本足の丸い腰かけを、自己流に文様を入れて仕上げます。荒削りが終わった腰かけ(みんなくで準備します)を、鑿(やすり)がけして整え、ザフィマニリ風の文様を入れます。文様の選びかたについては、担当者が助言します。最後に塗装をほどこして、ご自分でつくった腰かけをお持ち帰りいただけます。

ナトゥ組(5月21日(火)・28日(火))

ルチャ組(6月1日(土)・8日(土))

※いずれの組でも、1日だけご参加いただくことはできません。2週連続でご参加いただくようお願いいたします。

場所: 特別展示館など / 要参加費(500円(2日間)) / 要事前申込 / 各チーム7名 / 時間: 10:30~16:30(昼休憩あり)

#### ＜ザフィマニリの家壁紋様を彫ろう＞

ザフィマニリの家壁には繰り返しの幾何学文様が彫られています。展示場にできた壁に来館した人たちが文様を彫りすすめて家壁をつくりあげよう。

#### ＜ザフィマニリの文様を編もう＞

ザフィマニリでつくられるカゴや帽子、敷物には、いろんな文様が編まれています。とっても難しそうだけど、実は簡単な作業の繰り返し。きれいな文様を編むことができるかな？

場所: 特別展示館 / 当日自由参加 / 参加無料

#### ＜ザフィマニリの敷物を編もう＞

みんなでザフィマニリの敷物をつくしましょう。ザフィマニリから持って帰ってきた、材料となる草をたたいて平らにすることや、敷物を編むことができます。作業の間には、みんなくの研究者によるザフィマニリに関するおはなしの時間もあります。

3月17日(日) 「くらしに生きる編みもの」

上羽陽子(国立民族学博物館 助教)

4月1日(月) 「ザフィマニリ式道具の使いかた」

飯田卓(国立民族学博物館 准教授)

4月15日(月) 「映像でみせるザフィマニリ」

川瀬慈(国立民族学博物館 助教)

5月3日(金・祝) 「つげなし帽子と女性の髪型」

上羽陽子

5月20日(月) 「ヒトとウシ~供犠から編みものまで」

飯田卓

5月31日(金) 「よくみて判る大きなちがい~素材から編み方まで」

上羽陽子

6月11日(火) 「豊富にみつかると天然素材」

飯田卓

場所: 特別展示館 / 不定期開催 / 当日自由参加 / 参加無料 / 時間: 14:00~16:30(おはなしの時間15:00~15:30)

### ◆ミニレクチャー

ザフィマニリの村を訪れて展示をつくったみんなく研究者が、展示場をご案内します。

場所: 特別展示館 / 参加無料(要展示観覧料) / 申込不要

## ◆みんなくゼミナール

最新の研究成果を分かりやすくお伝えします。

2013年4月20日(土)13:30～15:00(開場13:00)「マダガスカル 霧の森のものづくり」 講師:飯田卓(国立民族学博物館 准教授)

2013年5月18日(土)13:30～15:00(開場13:00)「マダガスカル 霧の森にくらす人びと」 講師:内堀基光(放送大学 教授) 対話者:飯田卓

場 所:講堂/参加無料/申込不要/定員450名(先着順)

## ◆みんなくウィークエンド・サロンー研究者と話そう

期間中毎日曜日(5月5日をのぞく)、みんなく館員がマダガスカルでの研究活動をお話します。

4月 7日(日)「ザフィマニリの編みもの」

上羽陽子(国立民族学博物館 助教)

4月14日(日)「マダガスカルにおける狩猟採集民のくらし」

池谷和信(国立民族学博物館 教授)

4月21日(日)「マダガスカルの言語文化のルーツと変化」

崎山理(国立民族学博物館 名誉教授)

4月28日(日)「マダガスカルの織機と織物」

吉本忍(国立民族学博物館 教授)

5月12日(日)「マダガスカルの無形文化遺産ザフィマニリ彫刻の映像記録」

川瀬慈(国立民族学博物館 助教)

5月19日(日)「マダガスカル農村部の日常生活と墓制」

森山工(東京大学 教授)

5月26日(日)「マダガスカル展 もうひとつの準備現場」

飯田卓(国立民族学博物館 准教授)

6月 2日(日)「シルクの島マダガスカル」

杉本星子(京都文教大学 教授)

6月 9日(日)「太平洋からきたマダガスカルのことば」

菊澤律子(国立民族学博物館 准教授)

場 所:本館展示場・特別展示館/参加無料(要展示観覧料)/申込不要/全回14:30～15:30(予定)

## 【みんなく映画会】 NEW

特別展にちなんで、マダガスカルに関するドキュメンタリー映画を上映します。上映の前後には、本特別展実行委員長と各作品の監督が対談をおこない、背景をわかりやすく解説します。

「ザフィマニリストイルのゆくえ」

日 時:2013年5月11日(土)13:00～15:00(開場12:30)

話し手:川瀬慈(国立民族学博物館 助教)

聞き手:飯田卓(国立民族学博物館 准教授)

「ギターマダガスカル」

日 時:2013年5月25日(土)13:00～15:40(開場12:30)

話し手:亀井岳(映画監督)

聞き手:飯田卓(国立民族学博物館 准教授)

場 所:講堂/参加無料/申込不要/先着順

## 【友の会講演会】

### ◆第105回 友の会東京講演会

2013年3月30日(土)14時～16時「何処にでもある何処にもない世界 マダガスカル」

講師:深澤秀夫(東京外国語大学教授)、飯田卓(国立民族学博物館 准教授)

内容:マダガスカルにはインド洋を行き交ったアジア、アフリカ、アラブ、ヨーロッパの人びとの一千年余りの「記憶」が随所に刻まれています。言葉や生活文化を丁寧によみとくことで、文献には記されていないその歴史にせまります。

場 所:JICA市ヶ谷ビル セミナールーム600 /申込不要/定員80名(先着順)

### ◆第418回友の会講演会(会員限定)

2013年4月6日(土)講演会14時～15時、見学会15時15分～16時15分 「マダガスカル中央高地のザフィマニリ文化」

講 師:飯田卓(民族社会研究部 准教授)

内容:アフリカ地域にありながら、東南アジアからの文化的影響も受けてきたマダガスカル島。そう聞くとエキゾチックなようですが、どこかしら日本の山村を思わせるような一面もあります。霧の森にくらすザフィマニリの人びとを紹介します。

場 所:第5セミナー室(本館2階)/申込不要/定員96名(先着順)

平成 25 年 みんなく春の特別展「マダガスカル 霧の森の暮らし」  
 広報用画像リスト・申込み用紙

1.



2.



3.



4.



〔メールでお申し込みの場合〕 [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	年 月 日

【広報に関するお願い】

- 掲載記事、番組内容について館の基本情報の確認のため、原稿等の校正を、FAXまたはメールにて、下記連絡先までお送りいただきますようお願いいたします。
- 写真使用に関するお願い、注意事項
  - ①写真（画像）使用の際は、必ずキャプションを併記してください。
  - ②写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画テープを3部お送りください。

【広報に関するお問い合わせ】

国立民族学博物館 広報企画室 広報係  
 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
 TEL : 06-6876-2151 (代表) 06-6878-8560 (直通)  
 FAX : 06-6875-0401 MAIL : koho@idc.minpaku.ac.jp



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立民族学博物館  
 National Museum of Ethnology